高校生活ありがとう!!

電気科

電気科担任　斉藤 大士 先生

ご卒業おめでとうございます。唐津工業高校で過ごした三年間はいかがだったでしょうか？

皆さんが過ごした高校生活は、これまでになく特別なものでした。三年前、平成最後の入学生として唐津工業高校の学校生活をスタートし、一年生の三学期の始めには新型コロナウィルスが流行し始めました。この影響で日常生活が大きく変化し、修学旅行を含め学校行事の多くが中止となりました。それでも皆さんは、仲間とともに部活動に励み、資格取得へ挑戦し、唐工祭での団結、そして就職・進学試験に取組み、素晴らしい経験と成長をなし遂げました。この貴重な経験は皆さんが社会人になってから必ず自信になることでしょう。しかし、この三年間の中には、沢山の人達が影で努力された上で、日常を過ごすことができたことに目を向けてください。そして、ぜひ感謝の気持ちを忘れないでください。

さて、皆さんは四月からの新しい門出を目の前にして、明るい希望を抱くとともに、今までと違った環境でうまくやっていけるのかという不安な気持ちもあるのではないでしょうか。新しい環境では、たくさんのチャレンジの機会が訪れます。そのような機会を得たとき、ぜひ、「チャレンジ精神」を持って何事にも積極的に挑戦して頑張ってください。チャレンジが成功すれば「自信」へとつながり、逆に失敗したとしても次につながる「経験」となります。失敗の原因を追究すれば、成功への道が見えることもあります。失敗を恐れず挑戦する気持ちを忘れずに行動してください。

私も電気科のクラスの皆さんと三年間一緒に過ごし、成長していく姿を目の当たりにしながら、日々を楽しく過ごすことができました。また、保護者の皆様には多大なご支援とご協力をいただき、無事に卒業を迎えることができることに大変感謝しております。

機械科

機械科担任　瀬田 隆 先生

御卒業おめでとうございます。保護者の皆様の多大なるご協力を頂き、卒業の日を迎えることができました。本当に感謝をしております。

機械科のみんな、高校三年間を振り返ってみてどうですか？一年生の時の自分と今の自分どのくらい成長していますか？随分考え方や、意識が変わったのではないでしょうか？これからの人生、成長と反省の繰り返しです。日々、感謝の心を忘れずこれから沢山の人達と関わって生きて行ってください。君たちの良さは、「行動力」です。君たち一人ひとりには、人を動かす力があります。誰かが目標を設定して考えて努力したから、一人また一人と巻き込んで成功したことも沢山あったと思います。その気持ちや、行動力をそれぞれのステージで発揮して欲しい。心からそう願っています。みんなは若いのですから、失敗を恐れず何事にもチャレンジしてください。若い内は多くの失敗をし、その失敗の中から多くを学び取ってください。ものづくりの一つの成功の陰には沢山の失敗があります。失敗が成功に繋がるのです。社会生活においても色々な壁にぶつかると思いますが、失敗を恐れず「まずは実行」行動してください。きっとその壁を難なく乗り越えていけると思います。自信を持ってください。

最後に、新たなステージへ旅立つみんなへ、神様は「願ったもの」よりも、幸せを増すのに「必要なもの」を与えてくださいます。それは必ずしも自分が欲しくないものかもしれません。しかし、すべて必要なものだと、感謝し謙虚に受け入れそれぞれのステージで羽ばたいてください。

建築科

建築科担任　江島 智博 先生

卒業おめでとうございます。私にとって君たちは初めて担任した卒業生です。コロナ禍という数多くの制限がかかる中で我慢しながら毎日の学校生活を全うしてくれた君たちを誇りに思います。それと同時に、保護者のみなさまのご協力に大変感謝しております。本当にありがとうございました。

思い返すと色々なことがありました。日々の授業やホームルームはもちろん、文化祭のクラス展示、クラスマッチの優勝、短編ドラマの作成、全校トップの出席率、授業中のパン…修学旅行に行かなくても思い出はたくさんあります。

特にこの一年間は高校総体に始まり、進路の決定という君たちの人生にとても重要な出来事、また、唐工祭を作り上げる君たちに関わり、悪戦苦闘しながら成長していく様子を間近で見ることができ、とても濃い時間を過ごすことができました。衝突することもありましたが、ともに悩み、喜び、学ぶことができた時間は私の一生の宝です。君たちを教え導いているつもりでしたが、その何倍も君たちから育ててもらった三年間でした。

また、いつか会える日を楽しみにしています。

土木科

土木科担任　副島 浩史 先生

三年生の皆さん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様には多大なるご協力を頂いたお陰で卒業の日を迎えることができ、本当に感謝をしております。

私はこの一年間君たちの担任を務めて短い時間ではありましたが、君たちの成長する姿を間近で見てきました。部活動での活躍、唐工祭での盛り上がり、就職試験や進学試験での頑張りなどやる時にはやってくれる生徒たちでした。この三年間で世の中も大きく変化しました。今までの当たり前が当たり前ではなくなり、我慢しなければならないことも多かったと思います。ただそんな中でも君たちは我慢強く、辛抱強く過ごしてきたと思います。その我慢強さはきっといつかどこかで役に立つはずです。

君たちは、本当に学校が好きで、友人が好きで、仲間のことを大事にすることができる人たちです。この学校で出会った仲間を大切にし、社会に出てからは世の中のために貢献できるように頑張ってほしいと思います。社会の一員としてお互い頑張っていきましょう。